見学・面接で使う 新人 PT 教育体制チェックシート

A4 印刷用（記入欄付き）

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

判定目安：YES 6 個以上＝教育体制が強い可能性 / 3 個以下＝環境要因の見直しを優先

A. 基本確認（7 項目）

- [ ] 新人の指導担当（プリセプター / メンター）が固定されている
- [ ] 3 か月・6 か月・1 年の到達基準（評価・介助・記録）が明文化されている
- [ ] 新人の症例配分に偏り対策（割り当て調整）がある
- [ ] 症例カンファレンス / 振り返りが週 1 回以上ある
- [ ] 記録テンプレ（SOAP / ICF など）が統一されている
- [ ] 業務時間内に学習・指導の枠が確保されている
- [ ] 禁忌・中止基準・急変対応の研修が体系化されている

B. 赤旗チェック（4 項目）

- [ ] 相談先が曖昧で、確認なしのまま介入する場面がある
- [ ] 振り返りが不定期で、忙しいと消える
- [ ] 学習が残業前提で、睡眠や回復を削っている
- [ ] 急変・禁忌・中止基準が「経験で覚える」運用になっている

C. 面接で読むメモ

良いサイン

注意サイン

最終判定（応募継続 / 保留 / 辞退）

使い方：見学・面接で 5 項目以上を確認し、YES 数と赤旗の有無で判断する。